

整形外科後期研修カリキュラム

【一般目標】

整形外科を受診する患者様に安全で信頼されうる診療を提供するために、整形外科医としての基礎的かつ幅広い臨床能力を修得し、また各種の整形外科専門医の指導下に専門分野（脊椎外科、関節外科、関節リウマチ、手の外科、骨軟部腫瘍、スポーツ外傷）の治療も修得し、将来の専門医取得に備える。

【行動目標（SB0）】

1. 定められた手術手技に習熟する。
2. 定められた手術数を経験する。
3. 専門医として必要とされる診断能力を修得する。
4. 専門医として必要とされる救急能力を修得する。
5. 全身管理能力を修得する。
6. 標榜医としての必要とされる全身麻酔能力を修得する。
7. 専門医としての指導能力を修得する。
8. 患者および患者家族との対応に習熟する。
9. 日本整形外科学会専門医資格取得を目指す。
10. 名古屋大学整形外科各種合同カンファレンスに参加する。

【方略】

項目	SB0	時期	協力者
入院患者を主治医として担当する	3, 8	3年間	指導医
執刀医として手術を担当する	1, 2	3年間	指導医
外来・入院患者を主治医として担当する	3, 4, 8	3年間	指導医
指導医の下にICUを担当する	5	3年間	ICU担当医
指導医の下に全身麻酔を担当する	5, 6	3年間	麻酔科指導医
症例検討会で発表、討議する	3, 4, 7, 10	3年間	指導医
学会および論文発表を行う	3, 7, 9	3年間	指導医
救急外来での診療を担当する	4, 5, 6	3年間	指導医及び ICU指導医

【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金
早朝	X線読影	X線読影	X線読影	X線読影	X線/抄読会
午前	ICU/麻酔	一般診	予約診	一般診	手術
午後	ICU/麻酔	検査/手術	手術	ギプス/手術	手術
夕刻		カンファレンス		名大カンファ	医局会

【評価方法】

項目	対応する SBO	評価者	時期	評価法
経験した手術手技名	1	自己・指導医	毎月	自己記録
手術数(手技別に)	2	自己・指導医	毎月	自己記録
担当患者疾患名	3	指導医	毎月	自己記録
ICU 担当管理患者	4	ICU 担当医	毎月	自己記録
麻酔担当患者疾患名	5	麻酔科部長	毎月	自己記録
定例カンファでの提示	6, 10	自己・指導医	毎週	口頭
学会発表・論文発表	7	指導医	半期毎	指導医による確認

【別に定める事項】

1. 担当すべき入院患者の疾患と患者数
2. 執刀医として担当すべき疾患の種類と患者数
3. 全身麻酔患者数
4. 目標とすべき学会発表回数
5. 目標とすべき論文数